

選挙の争点は「橋下対平松」「大阪都」でなく

市民のくらし応援の 市政実現です!

東日本大震災は、政治と自治体のあり方を厳しく問いかけています。いま大阪市政がやるべきことは、市民の命を守る街づくりに全力をあげることです。

大阪は、沖縄に次ぐ高い失業率、職に就いても非正規が45%です。いまこそ、市民や中小企業を大切にする市政への大転換が必要です。また、「大阪都構想」は、大規模開発の予算をひねり出す「制度」づくりが目的です。

わたし考一さんと一緒に、市民のくらしを応援する大阪市政を実現しましょう。

大阪市をよくなる会市民生活本部長

日本共産党推薦

わたし考一

渡司 こういち

プロフィール

1952年(昭和27年)宮崎県都城市生まれ、59歳。大阪工業大学二部電子工学科卒。1996年から旭区選出で市議4期。日本共産党大阪市区議員団幹事長・副団長を歴任。家族/妻と2男1女。趣味/つり、映画鑑賞、詩吟六段、剣道初段。



「大阪市をよくなる会」機関紙
2011年10月19日 第358号

〒530-0041 大阪市北区天神橋3-11-7サンアール扇町ビル3F TEL (06) 6136-1923 FAX (06) 6136-1555
HP: <http://www.yokusurukai.com> Mail: yokusurukai@nifty.com
大阪市をよくなる会はわたし考一さんの見解を發表しましたので紹介します。

募金のお願い 大阪市政刷新をめざし全力をあげています。募金のご協力よろしくお願いいたします。郵便振替口座 00920-8-44563 加入者 大阪市をよくなる会



わたし考一がめざす大阪市は

200億円

くらし応援
緊急プラン



1 国民健康保険料の
1人1万円値下げ **80億円**

加入世帯の3割が高く
払えない国保料を引き下げます。

2 中学校卒業まで
入院も通院も
医療費無料に **25億円**

医療機関の窓口での
自己負担500円もなくします。

3 自校炊飯方式で
中学校給食を
実施する **20億円**

自校直営方式を
3ヶ年計画でおこないます。

4 無料の敬老パスを守り、
赤バスは改善し存続する

市バスを市民の移動権を保障する
公共交通に位置づけます。

5 中小企業の
青年雇用に対する
助成制度をつくる **30億円**

30歳未満の正規新採用に
半年間、月5万円を助成します。

6 公契約条例で
最低賃金を
時給1200円に **20億円**

市が発注する事業(公契約)で
率先して最低賃金を引き上げます。

7 住宅リフォーム
助成で中小企業の
仕事を増やす **25億円**

50万円まで助成。国交付金と
あわせ50億円の予算で
1000億円以上の経済波及効果。

防災先進都市
原発ゼロ
の発信



1 関西電力に原発ゼロ
への方針転換を求める

関電筆頭株主の大阪市の
原発ゼロ宣言は、国の政策を
転換する大きな力になります。

2 太陽光発電への助成
予算を5倍(5千戸)にする **11億円**

小中学校や公共施設にも
計画的に太陽光パネルを設置します。

3 東日本大震災を
踏まえ、防災計画を
抜本的に見直す

大型開発を中止し、その予算を
防災の街づくりにまわします。

4 住宅の耐震改修助成の
予算を5倍に増額する **11億円**

現行制度は改修費の2分の1、
上限100万円。



大型開発の
ムダづかいを改めれば
防災とくらしに予算が回せます

WTCの税金ムダ使いは
ケタはずれの **1104億円**

銀行借金を **424億円**も
肩代わりしたのは平松市長

府市で力を
合わせます!



府 市
梅田章二 わたし考一

さらに平松市長も橋下知事も

6分の短縮のために **3500億円**の
高速道路が必要だと言っています
(淀川左岸線延伸部)